

NarKingi News

NARA AMT

No. 358
APR. 2024

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

〔事務局〕 〒632-8552 天理市三島町 200

〔発行責任者〕 倉田 主税 〔編集責任者〕 小林 昌弘

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 (TEL) 0743-63-5611 (8989)

施設代表者・連絡責任者合同会議、地域ニューリーダー育成研修会を開催して

組織法規部長 西原 幸一

2024年1月6日(土) 13:00より奈良県立医科大学 厳櫃会館 3階会議室にて、コロナ渦の影響もあり約3年ぶりに施設代表者・連絡責任者合同会議、地域ニューリーダー育成研修会を開催しました。参加者の方々には、講演を聞くだけでなく、普段我々が直面している課題についてグループディスカッションをしていただきました。施設間での情報交換や対応につき情報共有していただき、今後の臨床検査、臨床検査室運営に活かしていただければと思い企画させていただきました。参加者も施設代表者・連絡責任者だけでなく、若手から中堅まで幅広い世代の方がお集まりいただき、年齢、施設を超えた情報共有の場となりました。

倉田会長の挨拶から始まり、日臨技近畿支部 勝山支部長：「日臨技の役割と活動」、若草の会 吉田代表世話人：「奈良若草の会：今後の課題と展望」の各報告があり、地域ニューリーダー育成研修会として、1. 新人育成・中堅育成について 2. 選ばれる病院、施設になるには 3. 南海トラフなど大規模災害時の医療支援 3題5グループに分かれてディスカッション後、グループ代表が発表しました。世代を超えて大変盛り上がったディスカッション・発表となりました。

最後にアボットジャパン合同会社 梶先生より、「コミュニケーション」の講演がありました。グループディスカッションの発表でも 1. 育成についての 3 グループ全てからコミュニケーションが大事であるという趣旨の発表後の講演で関連性があり、とても興味深いお話でした。

そして、最後の最後に希望者のみで、久々の新年交礼会を開催することもできました。他施設の方々と久しぶりに交流でき、有意義な会となりました。

約3年ぶりの開催で新年一発目の企画でしたが、奈臨技会員の参加者、発表者、準備して下さったスタッフ、皆様のおかげで無事終了することができました。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。



《精度管理調査と精確性の長期維持調査の実施要項》

昨年に引き続き「精度管理調査（全分野）」と「精確性の長期維持調査（臨床化学と血液のみ）」の申し込みを同時に行います。「精確性長期維持調査」は年 5 回行う予定です。精度管理調査同様、積極的にご参加頂きますようお願い致します。なお、本年度も日臨技精度管理事業・データ標準化事業システム (JAMTQC) を使用して Web による申し込み、回答、報告を実施します。

また、賛助会員につきましては「精度管理調査」のみの参加となります。

〈参加コースと項目〉太文字は精確性の長期維持調査の項目下線は評価項目

※全項目参加でお申し込みいただく施設は病理・細胞診が参加可能かお確かめ下さい。

例年全項目申し込み後、病理・細胞診を参加中止される施設が見受けられます。

臨床化学 1	LD, ALT, AST, ALP, AMY, ChE, Ca, IP, UN, CRE, T-BIL, D-BIL, Fe, Na, K, Cl, Glu T-CHO, HDL-CHO, LDL-CHO, TG, TP, Alb, <u>γ-GT, CK, UA, CRP, 免疫グロブリン</u>
臨床化学 2	HbA1c
免疫血清 1	梅毒 TP 抗体, HBs 抗原, HCV 抗体
免疫血清 2	CEA, PSA, <u>TSH, FT4</u>
血液	WBC, RBC, Hb, HT, PLT , (※試料の一部で評価対象が異なります) MCV, 好中球数(%), リンパ球数(%), フォトサーベイ(Web 表示) ※好中球数(%), リンパ球数(%), は長期サーベイのみです。
凝固	PT (秒, %, INR), APTT, フィブリノーゲン
微生物 1	<u>グラム染色, フォトサーベイ(Web 表示)</u> , 細菌同定, 薬剤感受性試験, 臨床に対する報告コメント
微生物 2	<u>グラム染色, フォトサーベイ(Web 表示)</u>
一般	尿定性, 尿蛋白定量, 尿糖定量, <u>フォトサーベイ(Web 表示)</u>
輸血	<u>ABO 血液型, Rh 血液型, 不規則抗体, 抗体力価</u>
細胞診	<u>フォトサーベイ (Web 表示)</u>
病理 1	染色サーベイ実施
生理	<u>神経機能, 機能分野, 画像分野, 各フォトサーベイ(Web 表示)</u>

〈申込方法〉

日臨技 HP（日臨技精度管理調査）から申し込みください。日臨技精度管理調査ボタンをクリックし施設番号とパスワードを入力してログインし、「事務メニュー」→「令和 6 年度奈臨技精度管理事業」を選択してお申し込みください。

精確性の長期維持調査も申し込む場合は 5 回行いますので「9 月～5 月精確性の長期維持調査（奈良県令和 6 年度）の 5 つの事業（精度管理事業と合わせて 6 つ）についても各施設で申し込んでください。お手数ですがよろしくお願い致します。

なお、事務メニューに入りましたら「入力ガイド」を掲載しています。

〈申込締め切り〉5 月 17 日（金） *申込は期限厳守でお願いいたします

〈参加費〉 精度管理調査は 2000 円、精確性の長期維持調査（5 回分）も 2000 円。

両方参加の場合は 4000 円。

なお、参加コースの数で参加費用は変わりません。

〈請求書〉申し込み締切日以後、日臨技 HP からダウンロードできます。

〈振込先〉(振り込み用紙は各施設で準備しなるべく早くお振り込みください)

南都銀行天理支店 (店番 180)

普通預金 口座番号 0747462

加入者名：一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

* 振込み名はカタカナ先頭 10 文字で施設名が判る名前として下さい

〈日程〉

	精度管理事業	精確性の長期維持調査
試料及び手引書送付日	6 月 30 日 (日)	9,11,1,3,5 月の第 1 月曜～火曜日 (試料があれば 5 月実施)
報告締切日	7 月 12 日 (金)	毎回 15 日
実施方法	手引書参照	1 日 2 回測定
検討会	各分野別に行います。詳細は後日の 奈臨技ニュースで連絡致します。	後日の奈臨技ニュースで連絡致し ます。

極端値の場合は担当委員から問い合わせる場合があります。また試料を再送付する場合があります。

長期精度管理の集計は翌月に日臨技 HP で参照可能です。自施設の位置を確認してください。

〈精度管理事業報告書〉

2022 年度より紙媒体での配布は廃止しております。

奈臨技ホームページ内にて P D F 形式で閲覧可能です。

〈精度管理事業評価〉

標準化事業の対象項目 (臨床化学・免疫血清・血液・微生物・一般・輸血・生理の一部) について評価を行います。精確性の長期精度管理の評価は行いません。

〈問い合わせ先〉

1. 申し込み方法

〒632-0018 奈良県天理市別所町 80-1

天理大学 医療学部 臨床検査学科 精度管理推進事業理事 中村 彰宏

TEL : 0743-63-7811 E-mail : a.nakamura@sta.tenri-u.ac.jp

2. 精度管理事業

〒632-8552 奈良県天理市三島町 200

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 精度管理推進事業委員長 高橋 陸

TEL : 0743-63-5611 E-mail : progress_0745@yahoo.co.jp

3. 精確性の長期維持調査

〒632-8552 奈良県天理市三島町 200

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 精度管理推進事業委員 倉村 英二

TEL : 0743-63-5611 E-mail : kurakura_eizi@yahoo.co.jp

< 生涯教育研修会のお知らせ >

「微生物検査の基礎（検体採取・グラム染色）」〔専門-20〕

講師：阿部 教行 会員（天理よろづ相談所病院）

山下 貴哉 会員（市立奈良病院）

日時：2024年4月25日（木）18時30分～20時00分

会場：Web開催

担当：微生物（生涯教育研修：専門-20）

会費：<奈臨技・日臨技会員>無料

【要旨】 本年は微生物検査の基礎を研究班講師で4回に分けて実施します。

はじめのテーマは検体採取とグラム染色です。

新たに配属された方や感染管理にかかわる方も視聴できる内容になる予定です。よろしく願いいたします。

研修会はZoomウェビナーを用いて行います。

下記アドレスよりご登録いただき、ご参加をお願いいたします。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_4Rx_6z3VRRG1rmHHF-onsQ

【問い合わせ先】 山下 貴哉（市立奈良病院）

Tel 0742-24-1252

e-mail ta-yamashita@nara-jadecom.jp



会員・施設状況（2024年3月1日現在）

[正会員数]	708名		
[新入会]	0名	[再入会]	0名
[変更]	3名	[退会]	2名

編集後記

厳しい寒さが過ぎ、春の温かさを感じられるようになりました。あわただしく昨年度が終わり、新たな年度が始まります。新たな気持ちで日常業務・技師会活動に取り組んで行きたいと思えます。

広報委員 K